

ま 真室川町

議会だより

2025年7月24日

No. **171**



さなぶり手仕事まつり⑤

～ 町内の出品者から ～

消流雪用導水路災害復旧工事進む(6月定例会議案審議) … 2

一般質問 (7人登壇) …… 4

町政の執行状況を調査(所管事務調査) …… 9

5月臨時会 …… 12

請願・陳情・議会のうごき …… 13

町民の声 …… 14

真室川町LINE公式アカウント

@mamurogawa_town



暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

6月定例会

会期：6月11日～13日

6月定例会は、11日から13日までの3日間の会期で開かれ、報告2件、契約案件、補正予算など町長提出案件5議案を慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

◆令和6年災第850
1号神ヶ沢川河川災害復旧工事（第2工区）請負契約の締結について

菅原道雄議員 第2工区の工事で完成するのかどうか伺う。
建設課長 この工事は、昨年の災害復旧工事で、

町が行うのはこの工事で終了になる。

◆令和6年度繰越路線バス購入契約の締結について

佐藤栄子議員 バス購入の要因は何か伺う。

町民課長 老朽化（耐用年数10年と走行距離40万キロ）により交換となる。メーカーでは新たな排ガス規制に対応する新車両を開発中のため受注を中止しており、今年度の納品が見込めないことから、新車同様の中古車の購入となった。

◆秋山牧場管理用トラクター購入契約の締結について

姉崎園子議員 落札率

60・9％であるが、予定入札価格の見積りの算出方法は、納期は、何馬力のトラクターで性能についてはどうか。
農林課長 複数の業者より見積りを提出してもらい、その平均を予定価格とした。納期については、6月下旬から7月上旬を予定している。百馬力のトラクターである。現車が、北海道本社にあるが、カタログを見た限りでは、操作盤やデザインも一新されている印象を受けた。

一般会計補正予算

◆情報センター非常用発電設備修繕料

小松健弥議員
①修繕内容は。
②情報センターと役場庁舎は別々の装置か。
③町内施設で非常用発

電装置を備えているのは何ヶ所か。

企画課長
①毎月点検で発電用エンジンの冷却水漏れが確認されたための修繕
②別々の系統である。

総務課長

③町有施設で非常用電源装置を装備しているのは、情報センター、役場庁舎、旧庁舎、中央公民館、総合体育館、病院・福祉施設であり、他に指定避難所12ヶ所にポータブル型の発電機を装備している。

◆定額減税不足額給付金事業

平野勝澄議員 昨年の定額減税給付金の税額未確定分で給付不足となった方などが対象とということだが、わかりにくい。あらためて内容の説明と対象者数を、また、その対象の方は

消流雪用導水路 災害復旧工事進む



令和6年7月豪雨神ヶ沢川の被災現場

自ら新たな手続きが必要か。

町民課長 物価高騰対策の定額減税事業で、減税しきれない分を給付金として出している。

住民税は令和5年分の所得で確定しているが、所得税は6年分の税額が確定しておらず、令和5年分から推計していた。今年3月の申告で6年分が確定したうえで再計算し、差額分を支給する。

新規の給付対象者として、税制上扶養親族となることのできない事業専従者の方、所得額48万円を超えて扶養となれなかった方など、いずれも非課税だった方にも新たに給付される。差額給付対象者が約710名、新たな対象者を合わせ合計930名ほど見込んでいる。対象者には町から通

知を行い、振込口座照会が必要な方からは回答いただき、順次給付を行い、10月末まで完了したい。

◆社会福祉施設物価高騰対策事業費補助金 佐藤成子議員 町内の社会福祉法人等に補助となっているが、この法人等に決定した訳は、またそれぞれの振り分けは。

福祉課長 県の基準により決定し、利用者数に応じて配分する。

◆災害復旧費について 八畝重一議員 令和6

注）議案名・事業名は一部簡略表記しています。

その他の議案

◆下水道事業会計補正予算

◆令和6年度繰越明許費の報告2件

※繰越明許費とは、年度内に終わらない支出を、予算の定めるところにより翌年度に限り繰り越して使用することが出来るもの。

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いたですものです。

町政を問う

（●印は要約して掲載しています）

- 八畝 重一 議員……………P 4
●担い手の農地引受力向上策を ほか
- 小松 健弥 議員……………P 4
●町道の維持管理状況は
- 平野 勝澄 議員……………P 4
●補聴器購入助成制度創設を
- 佐藤 成子 議員……………P 6
●地域医療の確保と強化について
- 姉崎 園子 議員……………P 6
●当町の魅力をどのように観光に結び付けるのか
- 佐藤 栄子 議員……………P 6
●地域おこし協力隊による地域活性化について
- 菅原 道雄 議員……………P 8
●3期目出馬について問う

□担い手の農地引受向上策を

町長

■更なる支援も検討したい



八畝 重一 議員

議員 水田農業を発展させるため、中核となる担い手の農地引受向上に必要な高性能トラクターやドローン等の農業用機械・施設の導入を支援してはどうか。

町長 スマート農業は

□みどり環境税を活用した真室川公園自然エリアの整備を

町長

■森林環境税と合わせ有効活用を考えていきたい

議員 約437万円が納税され、里山再生ア

クションプラン事業として約155万のソフ

□町道の維持管理状況は

町長

■今後とも道路状況の把握、維持管理を適切に実施し、安全・安心な道路交通の確保に努める



小松 健弥 議員

また、補修の基準はあるのか、町民が町道などに異常を発見した場合の対応はどのようにすればよいのかを町長に伺う。

議員 国道は国土交通省、県道は県の道路管理者が維持管理を行っており、町道については建設課、農道や林道に関しては農林課がそれぞれ維持管理を行っているが、最近道路が荒れてきているように思える。道路維持に費用がかかるのは承知をしているが、通行の安全性確保は必須と考える。町道の巡回点検などは実施しているのか、

町長 現在、町が管理する町道は256路線・延長195km・改良率71・5%、農道は14路線・延長4・5km、林道は22路線・延長53kmに及んでいる。「真室川町道路パトロール実施要領」に基づき、各路線を月1回巡回し、道路のくぼみやひび割れ、路肩の崩れ、危険木の有無、ガードレール、道路標識などを目視で点検するとともに、

□補聴器購入助成制度創設を

町長

■現在も一部の補助はあり、対象とならない方についても今後検討する



平野 勝澄 議員

議員 補聴器は片耳で3万・20万円と高額であり、公的な購入助成制度が利用できれば、

難聴の障害を抱える方々には恩恵となる。高齢者の質の高い生活と認知症予防に、早期の補聴器利用が有効だとの指摘もある。18歳以上を対象とした補聴器助成の実施自治体は、2024年12月1日現在で390、新潟県では全自治体の実施している。

町長 現在の制度として、①障害者手帳を有する聴覚障がい者は補聴器購入費の補助が受けられる。近年は修理も含め年に4件から9件程度の実績がある。②18歳未満の難聴児に対しては、軽・中程度でも県の支援策があり、言語習得などの健全な発達を促すため補聴器購入費用の助成を行っ

ト事業が計画されている。真室川公園上段の自然エリアでの優勢樹種・ヤマモミジをテーマとした「里山林再生フィールド」として誰もが親しまれる森づくりをすすめては。

議員 交流・関係人口創出のための資源としても貴重であり、構想をしっかりと持つべき。

□職員採用方法の見直しで人材確保を

町長

■人材確保対策を検討・強化していく

議員 職員の仕事内容は、複雑・高度化している。行政サービスの維持・向上のため、社会人枠やSPI試験導入等の職員採用方法の見直しと積極的な情報発信により、意欲あふれる人材の確保をすすめるべき。

町長 人材確保が深刻化している。近年は年2回の採用試験を実施しており、年齢等募集要件を見直してきた。

さらに、適正な人材確保のための試験方法を検討する。社会人枠・Uターン枠等の即戦力確保策は今後の検討課題と考えている。周知について、町ゆかりの学生にも積極的に情報提供するなどし、強化していく。

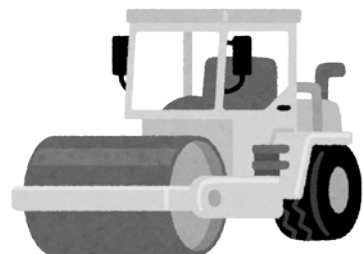


その他の質問

●土砂災害特別警戒区域の見直し状況は

議員 昨年の豪雨災害により、土砂災害特別警戒区域の見直しを図るとの報道があったが、進捗は。

町長 これまで新たな土砂災害が発生する恐れのある箇所として県内で約7400ヶ所、



後とも道路状況を把握しながら、道路の維持管理を適切に行い、安全・安心な道路交通の確保に努めていく。

その他の質問

●総合的な公共交通網の見直しが必要なのではないか

町長 地域生活と交通弱者のニーズの把握に努め、町民の交通利便性の向上を図っていく。



は大変重要であると考えており、補聴器購入支援を含めた難聴対策全般について、現状把握に努めるとともに、国、県、他自治体の動向を注視し、関係者からの意見を聞きながら検討していく。

□地域医療の確保と強化について

町長

■継続的に働きかけを行っていく



佐藤 成子 議員

議員 町立真室川病院では70歳の医師4名が通常勤務のほか、救急医療対応などを行なっており最上地域の医療機関としての役割を担っていると聞く。ハードな勤務状況にある医師自身の健康も心配なところである。勤務状況を緩和するために医師確保に向けての更なる施策は。

町長 現在、山形県内における医師の配置に

町長

■誰もが気軽に訪れるようにアクセスの改善が必要である



姉崎 園子 議員

議員 鮭延城跡地、管理用道路の維持管理について伺う。

町長 鮭延城跡は平成7年3月に町文化財「史跡」として指定している。鮭延城跡記念碑一帯の下刈りを内町地区に委託し、また真室川ライオンズクラブや真室川歴史研究会からもボランティアで協力をお願いしながら、町指定文化財としての維持・保全に努めている。

議員 鮭延城跡地、管理用道路の維持管理について伺う。

町長 鮭延城跡は平成7年3月に町文化財「史跡」として指定している。鮭延城跡記念碑一帯の下刈りを内町地区に委託し、また真室川ライオンズクラブや真室川歴史研究会からもボランティアで協力をお願いしながら、町指定文化財としての維持・保全に努めている。

□地域おこし協力隊による地域活性化について

町長

■地域活性化に大きな効果を期待する



佐藤 栄子 議員

議員 町の人口減少が著しく、地域おこし協力隊の力が何より不可欠と考える。協力隊員の活動状況・成果・課題・課題解消・取り組みと支援について伺う。

町長 現在4名の隊員が活動しており、本町では会計年度任用職員として雇用している。アート・デザインによる町のPRと農業、伝承野菜などの地域食材を活かした特産品開発

議員 町の人口減少が著しく、地域おこし協力隊の力が何より不可欠と考える。協力隊員の活動状況・成果・課題・課題解消・取り組みと支援について伺う。

町長 現在4名の隊員が活動しており、本町では会計年度任用職員として雇用している。アート・デザインによる町のPRと農業、伝承野菜などの地域食材を活かした特産品開発

は、急速に進む少子化の中で将来的に医療従事者を着実に確保するため、管内の若者に対し医療職を「目指す」「進学する」「就職する」方への支援の取り組みを行っている。当町においての支援策は。

町長 町立真室川病院が令和6年度に東北6県から医学生2名、県内から看護学生7名を

受け入れ研修を行った。小学生・中学生向けには「目指せ 医療・介護の仕事」と題した進路学習会へ病院看護師などが講師として、中高生向けには職場体験受け入れなどにも取り組んでいる。今後関係機関と連携しながら動機付けやPRに取り組んでいく。



その他の質問

●町立真室川病院の電子表示について

町長 担当職員や看護師等がしっかりサポートする体制をとり、患者さんに配慮し、医療の質の向上のためデジタル化を進めていく。



真室川公園梅林エリア

備を、平成30年度に下段の多目的エリアに至るまでの園路について工事を実施している。「階段への手摺り設置、ベビーカー・車いすが入って行けるような整備が必要」については、公園は自然の景観を生かして整備を行っているため、斜面や林間を散策することも魅力と考えている。梅林エリアの敷砂利部分について、散策しやすいように景観に配慮した整備の検討や公園へのアクセスの改善を検討する。

町長 平成25年に初めて1名の協力隊員の採用を行い、これまで延べ17名の隊員を任命している。そのうち5名が定住し、定住出来なかったのは20歳代前半の隊員が多い傾向にある。

議員 協力隊員の「移住・定住」へ繋げる為の支援は十分であるか伺う。

町長 任期2年目から任期終了翌年に起業する隊員に対し、定住・定着を図る目的で、100万円を上限に補助する制度があり、令和6年度まで2名の隊員が活用している。県の「若者世帯・子育て世帯・移住支援金」や「住まい



協力隊によるワークショップ

町長 協力隊は地域における人材不足の解消や移住者の客観的な視点を生かした支援など活性化に大変効果がある事業と認識し、町の課題解決や地域活性化に対し、希望者がいれば柔軟に採用を考えていく。

3期目出馬について問う

町長

災害の早期復旧と後期基本計画に責任



菅原 道雄 議員

議員 「昨年の豪雨災害からの復旧工事が今後本格化すること、第6次町総合計画後期基本計画の策定もあることから、引き続き町発展に取り組みたい」と3選出馬表明された。町長自身2期8年の自己評価と3選目に重点と考える施策を問う。

町長 第6次総合計画の「5つの政策目標」を達成するため、延べ79回の地区座談会では

ただいた380件の要望、意見、お考えを政策に反映させながら、町民の皆さんとともに歩む町政を心掛け推進してきた。これまでの主な実績としては、

- ・町立病院内科医師の招聘
- ・安楽城保育所・釜淵保育所の大規模改修
- ・18歳までの医療費、学校給食、副教材費、こども園・保育所の保育料と給食費などの無償化、公営塾の開設、乳児の家庭保育への支援、妊娠出産時の支援などの子育て支援の拡大
- ・高齢者世帯への住宅

除雪支援の拡充、防災無線の戸別受信機の整備など福祉・防災面での体制強化

- ・地域公共交通の充実を図るフリー乗降バスやデマンド型交通の継続的改善
- ・梅里苑の指定管理者制度の実施と斎場改修と民間委託

このような町民生活に直結する施策を中心に組み組んできた。

総合計画では、政策に基づいた44の施策における指標の平均達成率は、令和5年度末で99・2%となっている。

人口減少は単独で解決できる課題ではないため、町民の暮らしや産業を支える施策全体の底上げが必要だと考えている。一方で、「人口減少社会」に備えた生活支援体制の再構築も必要である。

「生きがいを感じ、幸せを感じるまち 真室川」の実現に向け取り組む。



実績の1つ「給食費無償化」

町教育関係者との懇談会

7/8(火)

議会では、例年、町教育関係者（教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局）との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ「各校の特色ある取組みについて」

教育委員会からは第2次真室川町教育振興計画における今年度の取組みの概要について、長倉指導主幹より話題提供がありました。

各小中学校では、それぞれ特色ある取組を実施しています。教育振興計画の重点施策の一つである「ふるさと学習」に力を入れていく学校も多く、児童生徒がいきいきと活動して



いる様子を写真等も交えた資料を使って、取組内容や成果などを紹介していただきました。各校からの取組み紹介を受けて、議員から感想や「郷土愛が醸成された状態とは」「子どもたちのSNS使用状況は」等、活発な質疑応答や意見交換が行われ、教育行政に関する理解を深める良い機会となりました。

町内所管事務調査

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。委員会では、より適切な審査を行うため、毎年所管事項について町内および県外先進地の現地調査を行っています。

その調査をもとに、町に対して評価・要改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させていくこととしております。（要約のうえ掲載しております）

産業福祉常任委員会

6月24日、25日（所管する課）

建設課・農林課
福祉課・
町立真室川病院
（調査した箇所、評価及び指摘事項）
※抜粋要約して掲載

○町道大池谷地ノ沢線・中村高坂線・砂子沢小国線の維持管理状況

- ・大池谷地ノ沢線・砂子沢小国線のうち、道路脇に大型土のうが設置されている箇所において、損傷が激しく通行車や通行人への安全性が懸念されるため、維持管理の徹底を図り、安全性の確保にあたらしたい。なお、現状や今後の対応方法について、地域住民への説明を行ったうえで、本工



町道詰田沢下小又線の災害復旧

事の実施に努められた。い。

○令和6年度町道災害復旧事業の進捗状況（公共及び単独）

- ・被災箇所は大規模なものを含めて箇所数が多くあったが、ほとんどの箇所が復旧または発注を終えていることは評価したいが、また、

丁寧な地元説明にも努められた。復旧箇所によっては、難工事が見込まれるため、二次災害に留意しながら、安全管理を徹底し、早期の復旧、開通に努められた。

○令和6年度 農地・農業用施設災害復旧事業の進捗状況（公共及び小災害）

- ・小災害ではかなりの数の被災箇所であった

が、本年の作付けに間に合った復旧であったことは評価したい。一方、公共災害復旧はまだ完成されていないところであり、農業生産と農村生活の基盤である農地・農業用施設の災害に対しては、迅速かつ適切な災害復旧が求められていることから、国県や関係機関との連携を図り早期の復旧に努め、農業経営の安定に寄与されたい。

○沼田中村地区ほ場整備事業の進捗状況

- ・農作業効率の向上や農業後継者問題解消の観点からほ場整備は効果が期待される。当該地区については、令和6年度末で整備率が42%と進んでいるように見受けられるが、事業完成予定年度が令和11年度であることから、本年度を入れて5年間を要することが想定さ

れる。受益者の負担増とならないよう、早期の事業完成に努められたい。なお、地元・町・県の連携を十分にしながら、事業の実施に努められたい。

○川ノ内地区ほ場整備事業の進捗状況

- ・本事業の効果については、沼田中村地区で述べたとおりである。当該地区については、送水管の整備は進んでいるが、令和6年度末で面整備率が0%であり、事業完成まで相当の期間を要することが想定される。受益者の負担増とならないよう、早期の事業完成に努められたい。

なお、一定数の担い手もあり、整備後の水田の有効活用とその成果については期待したい。

○森林経営計画による町有林の整備状況

・持続的な森林経営を確保するために、「森林経営計画」を策定し、計画的・効率的な森林の施策を行い、森林の有する多面的機能を十分に発揮させることを目的とし、計画通りに町有林の施策が実施されていることは評価したい。町有林においては、適切な管理を行い、利用適期を迎えた成木は、町内においての有効的な利活用を検討されたい。

○町道東町錦町線外流雪溝整備事業の進捗状況

・豪雪地における排雪作業軽減対策事業として、地域住民待望の事業であり、本年度の降雪期から利用が可能なる状況にあること、また、投雪口の蓋の軽量化を図り高齢者等への配慮があった点は評価したい。本年の冬期からの

利用となるが、流雪溝の機能が十分に発揮される水量の確保と、深い流雪溝への転落事故が無いようにすることなど、地域での利用が円滑に行われるような運用に努められたい。

○ヘルスケアーセンター まむろ川生活支援ハウス梅の里の運営状況

・高齢のため、居宅において生活すること不安のある町民に対し、介護支援、居住及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることが出来る支援に努めていることは評価したい。当町で生活するうえで重要な施設ととらえられるので、認知と利用促進を図る周知の対策を講じられたい。

○ヘルスケアーセンター まむろ川長寿命化事業の進捗状況

・長寿命化計画に基づき、ほぼ計画どおりに実施されていることは評価したい。

健康・人命を扱う重要な施設であることから、引き続き点検等を行い、修繕等を要する施設・設備の把握に努め、十分な対策を講じられたい。

○町立真室川病院事業の経営状況

・地域包括ケア病床の増加などに取り組み、増収のための努力を行っていることは評価したい。

最上地域北部の拠点医療施設であることから、関係機関との連携を密にし、継続的な常勤医師確保の取り組みや、患者のニーズに合った運用など、病院を利用する方が安心して医療を受けられるよう、一層の安定経営に努められたい。

総務文教常任委員会

7月1日、2日

(所管する課)

総務課・企画課

町民課・会計室

教育委員会

(調査した箇所、評価及び指摘事項)

※抜粋要約して掲載

○森の停車場改修及び活用状況

・中学生の提案を基に、交流スペースとして改修、開放を実現したことは評価したい。引き続き、利用者等の声を聞きながら利便性の向上を図り、さらなる利用者の増加に期待したい。また、森林ギャラリーという名称にふさわしく、絵画等の展示等も検討されたい。

○真室川小学校・真室川北部小学校の経営概要について

・(各校共通事項) 各学校とも、第2次町教育振興計画の基本目標に基づき、地域性を生かした学校の教育目標が掲げられている。

各教科でタブレット端末を活用した授業が行われており、ICT教育の充実した様子が伺えた。端末等の更新による回線速度の改善等、更なるICT教育の推進に期待したい。また、教員の指導スキ



改修により土足で上がれるようになった森林ギャラリー

ルの平準化を図り、ICTに苦手意識のある教員が負担感を抱えることのないよう努められたい。

(真室川小学校) 今年度より県の教科担任マ

イスター事業を受け、外国語授業に取り組んでおり、今後、児童の外国語の力が高まることに期待したい。

施設・設備において修繕が必要となる箇所がある場合は、速やかに対策を行い、児童が安全に学校生活をおくるため、環境整備に努められたい。

(北部小学校) 校舎内の共有スペースを学習に利用する等、建物の特徴を活かした教育を実践して児童の成長に繋げている様子が伺えた。来年度の創立20周年事業に向けて、計画的に準備を進められたい。



町民体育館の壁面改修工事

○町民体育館屋根・外壁塗装等改修工事状況

・順調に安全対策を実施しながら施工されており、利用者に対するう回路の案内を行うなど配慮されている状況が伺えた。利用者への

工事に関する周知も行いながら、引き続き、安全管理を徹底し、工期内に完成されたい。

○町内空き家の現状と対策

・空き家バンクの活用が進んでおり、空き家の発生を防ぐ取り組み

も実施していることは評価したい。また解体補助金の交付要綱見直しにより、解体が進んだことも評価したい。

今後、公道や生活道路等、地域住民の生活に危険が及ぶような空き家については、公費解体も検討されたい。

○消防団組織の現状

・入団者数が減少している中でも、班の統合等で柔軟に対応し、住民の不安解消に配慮されるよう努力していることは評価したい。現在の団員数を減らすことなく、装備品、車両等の整備強化を図りながら、住民に安心安全を与えるための組織維持に引き続き努められたい。また、今後開催される組織再編検討委員会においては、地区の意見・要望を十分取り入れたうえで、時代の変化に合わせた組織

のあり方を検討された。

○梅里苑キャンプ場の利用状況

・昨年5月のオープン以降、順調に利用者が増加していることは評価したい。併せて温泉入浴者数も増加傾向が見られ、相乗効果が期待される。今後、利用者による口コミや周知の強化等により、利用者やリピーターの更なる増加に期待したい。引き続き指定管理者と十分な連携を図りながら、地域の活性化等に取り組まれたい。

○地域おこし協力隊の今年度の取組状況

・地域おこし協力隊事業を継続して活用することで、移住定住だけでなく関係人口拡大にも繋がっていることは評価したい。また、隊員採用時の面接を丁寧に行い、ミスマッチングを減らす努力をしている事も評価したい。今後も積極的に事業を活用しながら、移住定住者の増加に繋がることに期待したい。なお、地域の過疎化を防ぐためにも重要な事業と考えるため、国に対する事業継続の要望も検討されたい。



議会のうごき

令和7年4月～7月

- 4月1日(火) 町議会第1回臨時会
4日(金) たんぼぽこども園入園式、保育所入所式
7日(月) 真室川中学校入学式
8日(火) 町立小学校入学式、新庄神室産業高校真室川校入学式
27日(日) 春季消防演習
29日(火) 真室川中学校春季大運動会
5月2日(金) 最上地方町村議会議長会臨時総会
7日(水) 県及び市町村長・議会議長会議
15日(木)～16日(金) 中央要望活動
19日(月) 町議会運営委員会、町スポーツ協会表彰式
および第39回町民総合体育大会総合開会式
21日(水) 町議会臨時会
23日(金) 国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会総会
24日(土) 町立小学校運動会
27日(火)～28日(水) 町村議会議長・副議長全国研修会
30日(金) 新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会役員会・総会、
最上市町村議会議長会臨時総会
6月2日(月)～3日(火) 県町村議会議長会臨時総会
4日(水) 町議会運営委員会
7日(土) 甌山山開き及び番楽奉納祭
11日(水)～13日(金) 町議会第2回定例会
18日(水) 最上県勢懇話会
20日(金) 最上市町村議定会定期総会、最上町村議定会定期総会
24日(火)～25日(水) 産業福祉常任委員会所管事務調査
27日(金) 町戦没者追悼式
7月1日(火)～2日(水) 総務文教常任委員会所管事務調査
8日(火) 町教育懇談会
14日(月) 県町村議会広報研修会
15日(火)～16日(水) 県外先進地視察研修
24日(木) 区長会との意見交換会・懇談会
28日(月) 知事と町村議会議長との意見交換会
30日(水) 県・町村議会議員意見交換会

○議会広報常任委員会の開催（6/26、7/4、7/9、7/11）

5月 臨時会

会期：5月21日

町民体育館を改修

教育施設の長寿命化推進

第2回臨時会は、5月21日に1日間の会期で開かれ、専決処分等の報告4件、契約案件、補正予算など町長提出案件5議案を慎重に審議し、原案のとおり承認・可決されました。

◆専決処分

(町税条例の改正)

八楸重一議員 町税条例上での大学生年代の子らに対する特別控除新設による町歳入への影響は。財政補填はどうか。

町民課長 大学生のアルバイト・就労制限対策のため創設された制度であるが、本町の実情からするとほとんど影響は受けないものと見込んでいる。

総務課長 直接の補填はないが普通交付税算定上にて反映される。

八楸重一議員 各種税制改正による影響把握・対応に遺漏なく努めるべき。

◆専決処分

(病院会計補正予算)

平野勝澄議員 入院収益が増加しているのに薬品費減額補正となった理由は。

病院事務長 当初は例年並みの予算編成をし、年度途中にコロナ対策など必要に応じて増減の補正をしたものを、年度末の状況を受けて補正した。コロナのクラスターが発生する可能性などを想定していたが、そうした事態は起きず、使わずに済んだことによる。

小松健弥議員 入院収益増加の要因は。

病院事務長 令和5年度に比べ患者数が増えた。特に、地域包括ケア病床は一般病床との

単価差が大きく、その利用が増えたことによる。

◆ロータリ除雪車購入契約

菅原道雄議員 落札率が99・9％と非常に高いが、その経過は。また、配備地区はどこか。増車でなく更新か。

建設課長 当初予算策定の段階で複数の業者から見積もりを出してもらい、ロータリ除雪車購入の過去の経緯も踏まえ予算を計上、入札の結果99・9％という落札率となった。及位地区に配備。町の除雪機械の更新計画に沿って古い車両の更新として購入するもの。

◆町道詰田沢下小又線災害復旧工事契約

菅原道雄議員 工事期間の予定は。冬期間通行可能になるか。

建設課長 工期は12月末までと設定している。冬期に通行可能となるよう目指しているが、この区間に別の災害復旧工事の現場もあり、その進み具合による。随時進捗状況をお知らせしていく。

◆町民体育館改修工事契約

小松健弥議員 屋根、外壁塗装等の改修でなかなかの金額だが、耐用年数はどのくらいか。また、教育課所管の建物は多く、順次補修が必要だが、どのような財源があるのか。

教育課主幹 前回塗装工事は平成25年でおよそ12年前。今回は塗装にとどまらず、一部腐食している箇所のカバー工法も含まれており、それもおつて高額になっている。耐用年数はおよそ15年程度と考え

ている。教育課所管の施設は多く、平成2年策定の長寿命化計画に基づき修繕等を行っている。学校であれば学校改善の交付金があるが、社会教育施設、体育施設には国や県の財源制度がなく、過疎債など有利な起債や、toto（スポーツ振興基金）からの助成も考えている。

菅原道雄議員 工期が3月中旬までということとで今年度いっぱい。町民の使用、イベント等に影響はないか。

教育課主幹 利用者の安全対策は、工事音、落下物、車両出入りによる事故の心配など懸念されるが、請負業者、工事管理業務委託者と打ち合わせを十分に行い、体育館の利用に支障のないように対応していく。予定されているイベントや日常の利

その他の議案

◆専決処分（都市計画税条例の改正）

◆専決処分（一般会計補正予算）

◆町道野々村新田平岡線防雪柵設置工事契約

注 議案名・事業名は一部簡略表記しています。

請願・陳情

案件がありませんでした。

スタディツアーに参加して

佐藤 栄子

6月28日、「大人の社会科見学・真室川スタディツアー」が開催されました。私は長年グリーンツーリズム活動に取り組んできており、町の魅力探しの参考とすべく参加しました。歴史民俗資料館の高橋館長のご案内で、江戸時代に隠れキリシタンがいたとされる谷口銀山、新庄藩がキリシタン摘発のため掲げたキリシタン制札、釜淵番楽、十字架伝説が伝わるお化け石等を丁寧にガイドしていただきました。町内を中心に約40人の参加者があり、皆さんともに新しい学びに関心を深められた様子でした。ストーリー

リー仕立てされた町のキリシタン文化、水田を眺めながらのカフェタイムなど、企画に工夫が感じられました。本町のグリーンツーリズムは発展途上ではありますが、素材を組み合わせた物語が魅力となり、人を招いていく財産になっていくことを再認識する機会となりました。



釜淵地区のお化け石

町民の声



藤田 勝さん
(釜淵5・6区 民生児童委員)

議会傍聴に感じた事

一般質問二日目を傍聴しました。冒頭に前日の質問者より発言取り消しの申出があり認められましたが、取り消しが必要な発言をするのはいかなるものか、と感じました。

最初の質問者は地域医療の確保と強化について。再質問の主旨が明確でないと議長から注意を受けていました。内容をよく把握し再質問を行うべきでしょう。

二人目は町の魅力をどのように観光に結びつけるかについてで、鮭延城跡周辺整備、梅公園の整備等の再質問が行われました。場所の写真や改善の具体案等を添付すると、より効果が得られたのではないかと感じました。

三人目のテーマは地域おこし協力隊でしたが、再質問はあまり要領を得ないで終えたように思いました。

質問が傍聴席に聞こえにくい部分が多かったです。マイクか、質問者の声か、傍聴席のスピーカーが悪いのか、確認し進捗してほしかったです。

今国会でも議論されている米の問題、消費税の問題、物価高対策、給付金問題等に関する質問等もあったらと感じました。

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220 (直通)

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は

9月です



編集を終えて

今号の編集と同時期に、第27回参議院議員通常選挙が行われておりました。今年にはコメ不足による価格高騰や備蓄米の放出、6月だというのに気温30度以上の真夏日が続く異常気象、また、山形新幹線E8系車両不具合で新庄・東京間の単独運行を中止と、安全な生活が時として大変な状況が発生しております。こうした暮らしに関わるさまざまな事柄も、みなさんの選択の要素となったことでしょう。この原稿執筆の段階では結果は出ておりませんが、当選者には、町民の願いが反映される政治をすすめてもらいたいものです。

新メンバーにより議会だよりの編集を行っております。お気づきのところがありましたら、ご連絡お願いいたします。暑い日々が続きます。体調管理に気を付けて、どうかお元気にお過ごしください。(佐藤栄子)

議会広報常任委員会

委員長	平野 勝澄
副委員長	佐藤 栄子
委員	八 欽 重一
委員	姉崎 園子
委員	佐藤 成子